

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの保健		科目コード	21Y590	担当者	森藤 香奈子、本多 直子			
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	前期		単位数	2	担当形態	オムニバス			
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連 (大◎、中○、小△)					
子どもの健康・安全と子どもを取り巻く保育環境を理解し、健全な成長と発達を支援するための保健活動を学ぶ。さらに、保育者に必要とされる子どもの発育・健康にかかわる諸問題の追究及び起こりやすい疾病や事故の予防・対応について修得する。						1. 「 <b>尽心</b> 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と 創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育における保健的観点や踏まえた保育環境や援助について説明できる。										
2.	保育における衛生管理及び安全管理について具体的に説明できる。										
3.	子どもの体調不良への対処、また、緊急時の対応について述べるができる。										
4.	子どもの健康や安全を含めた保健活動に関して、その計画と評価について発表できる。						○	◎	○	◎	
5.	子どもの健康管理や安全管理について、家庭・地域・関連専門機関との連携の在り方及び組織的取り組みについて説明できる。					成績評価の方法と割合					
授業方法						授業内の発言内容・終了後レスポンスカード (40%) 定期試験 (60%)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的にはテキスト、プリント資料、プレゼンスライドを用いた講義形式をとる。</li> <li>子どもの発育や健康にかかわる今日的な諸問題について、ディスカッション及びグループワークを行うことがある。</li> <li>講義のまとめや小テストにスマートフォンを使うことがある。</li> </ul>											
課題等への対応						授業外学修時間					
毎回、質疑応答の時間を設定し学生の疑問に答える。また、小レポートについては、その結果 (各受講生の意見) をその後の授業で詳細に紹介及び講評する。						次回授業で扱う範囲のテキストの該当箇所を読み、授業で提示された重要事項を復習する (計1時間)。					
回数	授業計画					学習課題 (予習・復習)					
第1回	保健活動の意義と目的、健康の概念と健康指標 (P2-8) 【担当：森藤】					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第2回	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題 (P9-12) 【担当：森藤】					テキストを読み、わからない用語があれば調べておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第3回	我が国の子育て支援施策 (P13-20) 【担当：本多】					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第4回	身体発育および運動機能の発達と保健 (P24-36) 【担当：本多】					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第5回	生理機能の発達と保健 (1) (P37-41) 【担当：森藤】					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第6回	生理機能の発達と保健 (2) (P41-44) 【担当：森藤】					子どもの成長発達を振り返り、授業で提示された重要事項を復習する。					
第7回	健康状態の観察と心身の不調などの早期発見 (P46-51) 【担当：本多】					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第8回	発育・発達の把握と健康診断 (P52-64) 【担当：本多】					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
第9回	子どもの疾病の予防および適切な対応 (1) 感染症 (P66-71) 【担当：森藤】					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第10回	子どもの疾病の予防および適切な対応 (2) アレルギー疾患 (P71-75) 【担当：森藤】					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第11回	子どもの疾病の予防および適切な対応 (3) 事故防止/外傷時の対応 (その他の資料) 【担当：本多】					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第12回	子どもの疾病の予防および適切な対応 (4) 歯の健康 (P76-81) 【担当：本多】					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第13回	配慮を要する子どもへの対応 その他の疾患 虐待など (P21-22, P51, P82-100) 【担当：森藤】					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第14回	障害のある子どもへの対応 発達障害 医療的ケア児 (P100-103, その他の資料) 【担当：森藤】					テキストを読み、わからない医学・看護用語があれば調べておく。授業内容を整理しまとめる。					
第15回	保育現場における環境衛生・事故防止及び安全対策並びに危機管理 一職員との連携、専門機関との連携— (P104-110) 【担当：森藤】					シラバスを読み、授業の概要を理解しておく。テキストの指定箇所を復習する。					
試験						定期試験を実施する					
教科書	保育者ためのわかりやすい子どもの保健 [著者]飯島一誠 [出版社]日本小児医事出版社				受講生へのメッセージ	近年、保育をめぐる社会状況の変化に伴い、1・2歳児を中心に保育所・園の利用者は増加しています。社会の期待に応えるためにも子どもの成長にかかわる保育士にとって、小児の発育・発達、病気に関する専門的知識が必要とされます。子どもの保健に携わる保育者としての役割を自覚し学びを深めていきましょう。					
参考書等	授業で提示する資料に関連するホームページ等の情報を掲載します。										